

- 1 開催日時 令和4年12月26日（月）
開会 午後 2 時 02 分 閉会 午後 2 時 59 分
- 2 開催場所 備前市役所 6階 委員会室
- 3 会議区分 定例会

4 出席委員

議席番号	職 名	氏 名	出欠
1	委 員	立 花 朗	出
2	委 員	高 取 睦	出
3	委 員	出 井 鉄 二	出
4	委 員	田 中 道 生	出

5 出席者

職 名	氏 名	出欠
教育長	松 畑 熙 一	出
教育振興部長	石 原 史 章	出
社会教育部長	波多野 靖 成	出
教育まちづくり推進部長	大 橋 宗 志	出
国際教育推進部長	守 屋 孝 治	出
図書館事業推進室長	高 橋 清 隆	出
教育振興部次長	草 加 浩 一	出
教育総務課長	竹 林 伊久磨	出
小中一貫教育課長	谷 口 健 一	出
幼児教育課長	竹 林 幸 作	出
社会教育課長	横 谷 重 樹	出
教育文化振興課長	畑 下 昌 代	出
教育プロジェクト推進課長	神 田 順 平	出
地域教育課長	池 田 満 之	出

- 6 付議事件 議案等付議事項のとおり
- 7 会議状況 議事録のとおり
傍聴人 なし 非公開 あり
- 8 署名委員 3番 出 井 鉄 二

9 書 記 教育総務課総務計画係長 田原 美智代
教育総務課総務計画係 渡邊 博史

10 その他 次回開催日時・場所
日時 令和5年1月30日（月）午後1時30分 開会
場所 備前市役所 6階 委員会室

議 案 等 付 議 事 項

区 分	案 件 名
議案第32号	国際バカロレア教育推進計画の策定について

午後 2 時 02 分 開会

教育長 委員の皆様には、令和4年12月教育委員会会議定例会にご出席いただきありがとうございます。
ます。

それでは、定例会を開会いたします。ただいまの委員の出席は、全員であります。定足数に達しておりますので、令和4年12月備前市教育委員会会議定例会を開会します。

委員並びに出席職員に申し上げます。

教育委員会会議の議事等会議は、人事、争訟のほか、市議会の議決を経るべき事項の原案、個人・団体情報を公開することにより個人の権利利害を害するおそれのある事項、例示いたしますと、問題行動や児童生徒指導上の案件などにあつては、委員会の議決をもって、非公開といたします。

非公開審議の事例は、かなり繁雑にありますので、あらかじめ、ご承知おき願います。

委員会会議規則及び委員会申し合わせにより、議事内容や発言内容に関する指摘は、あらかじめ分かる場合は、教育長から発議し、そうでない場合は、発言途中であっても、委員並びに出席職員からの発言を認めますので、教育長にその旨を告げていただき、私から発議するなど所要の手続きを行いたいと思います。以上よろしくお願いたします。

それでは、議事に先立ち、11月定例教育委員会会議以降の教育行政の概要について報告いたし

ます。

11月22日、片上認定こども園の園児たちが、勤労感謝の日になんで自分たちで作ったフラワーアレンジメントを贈呈してくれました。一生懸命作ってくれたことが伝わるもので、5階のエレベーターホールや1階のロビーに飾らせてもらいました。

11月23日、第1回BIZEN音楽祭が開催され、観覧いたしました。これまでは合唱祭として開催されていたものを、コロナ禍を経てリニューアルし、合唱に加え器楽のプログラムも取り入れた内容で、皆さん方の発表に向けた練習の成果を拝見いたしました。

11月24日、岡山県都市教育委員会教育長協議会の令和4年度第2回定例会を開催市として本市で開催し、岡山県教育長を始め、県内各市の教育長にお越しいただきました。午前中は県教育委員会からの情報提供に続き、本市から提出した協議題について、本市の教育理念と教育状況について報告し、活発に意見交換を行いました。午後はひなせうみラボに移動し、海洋教育等の取組について説明をいただきました。備前市の取組を知っていただくと共に、各市の学校行事に施設を活用いただけるような紹介ができました。

11月25日、伊部地区の座談会に出席いたしました。小中連携の具体的な進め方について意見交換をいたしました。

11月27日、令和4年度備前市美術展覧会の表彰式があり、出席いたしました。写真、日本画、書道、洋画、工芸の各部門で選ばれた受賞者が表彰され、私からも教育長賞を授与いたしました。さらに今年は、新たな委嘱作家として、日本画の橋本和子さんが選ばれました。

また同日、吉永地域公民館で開催されたMOA美術館東備児童作品展の表彰式に出席いたしました。

11月29日、議会が開会し、12月7日からの一般質問では、多くの教育関係のご質問に、ひとつひとつ丁寧にお答えしました。

12月2日、あそび庁とのZoom会議に参加しました。文部科学省も交えた協議で、遊びを通した学びの可能性を感じました。

12月3日、人権教育啓発研修会に出席しました。人権啓発標語と男女共同参画まちづくりに関する表彰のあと、トークと音楽による公演が行なわれました。

12月4日、備前市出身のプロ野球、オリックスバファローズの頓宮裕真選手と中日ドラゴンズの福島章太選手による野球教室があり、出席しました。参加した大勢の子どもたちが、熱心に指導を受けていました。

12月15日、三石小学校と三石中学校で取り組んでいる英会話アプリの取材が中学校であり見学

しました。生徒たちが真剣に取り組んでいる様子を拝見しました。

また、同日、片上高等学校創立70周年記念事業の芸術鑑賞会があり、出席しました。弦楽アンサンブルによる演奏で、素晴らしい内容でした。

12月22日、和気閑谷高等学校の学校運営協議会があり出席しました。県立高校再編計画の見直しや第1次志望調査結果が公表された直後でしたので、色々な意見が交換されました。

以上で報告を終わります。

それでは、早速議事に入ります。

まず、1番 前回定例会会議録の承認ですが、令和4年11月定例会の会議録について、委員の皆さんでお気づきの点はございませんか。

教育委員 (異議なし)

教育長 ないようですので、令和4年11月定例会の会議録については承認することとします。

2番 署名委員の決定ですが、今回は、3番の出井委員にお願いします。

次に、議事のうち、3番 学校・園の現状報告の「生徒指導経過」等に関する部分は、会議規則第15条第4号及び第6号の規定に基づき、個人に関する情報を含む、会議を公開することにより個人の権利利害を害するおそれのある事項、会議を公開することにより教育行政の公正又は円滑な運営に著しい支障を生ずるおそれのある事項として、非公開とするよう発議します。

このことに賛成の委員は挙手願います。

教育委員 (全員挙手)

教育長 全会一致により非公開と決定しました。

それでは、3番 学校・園の現状報告 をいたします。

非公開該当部分の報告になりますので、非公開とします。

..... 【 非公開審議 】

..... 【 非公開審議 】

教育長 それでは、4番 議案等付議事項 について審議を行います。

議案第32号 国際バカロレア教育推進計画の策定について 事務局から説明願います。

教育振興部長 それでは、議案第32号国際バカロレア教育推進計画の策定について、提案理由に記載しておりますとおり備前市教育委員会事務委任規則第2条第1項の規定により提案させていた

だくものでございます。別紙の方に、計画案として提出をさせていただいております。

本日この計画案について、ご了解をいただければ、計画書として案が取れるというところで、ご了解を賜りたくご提案申し上げるものでございます。説明につきましては、担当部長の方から、大まかに説明をさせていただきたいと思っております。それではよろしくお願いいたします。

国際教育推進部長 まず初めに国際バカロレアの動画を2本ご覧いただきましたが、最初の動画の中にもありましたけども、このIBの教育を導入することによって、生徒が変わる、教師が変わる、学校が変わるということを、導入した学校は実感されているケースが多いと思っております。私どもも備前市の教育の方向性と合致する、この国際バカロレアの教育を小中で導入することによって、今全国で教育の中心になっている探求学習を、備前市はより発展的に、より前進をさせていきたいなという風に感じております。実はこのバカロレアというのは、当初はインターナショナルスクールとかあるいは私立学校での導入が大半でした。その理由の1つは、かつてはバカロレアを導入したら、全て英語でやらなければならないという縛りがあったものですから、なかなか公立の学校で導入することは、難しい現状があったんだと思っております。しかし、数年前から、日本においては、日本語でこのバカロレアの教育をやるということが認められております。そこで、この5年ぐらいの間には、私立の学校よりも公立の学校で、バカロレアを導入する学校が一気に増えてまいりました。しかし、公立の学校でも目に見えて増えたのは実は、DP、高校生を中心にしたプログラムと、MYP、中学生を対象にしたプログラムが増えていきました。昨年、この動画でもご覧いただきました、高知県の香美市にある小学校が公立の小学校で初めて、小学生を対象にしたPYPのプログラムの認定校になりました。ですから、公立の小学校で言うと、まだ1校だけなんです。ぜひ備前市の子供たちのために、備前市の教育のために、また今備前市が抱えている人口減少、人口の流出を解決する一助にしていくために、IBを取り入れた教育というものを、備前市の1つの特色にできたらなという風に思って、ご提案をさせていただいております。よろしくお願いいたします。

教育振興部長 続きまして、小中一貫教育課長から総合的な探求の時間との関係、それから、11月に高知県香美市立大宮小学校を私どもが視察をしております。その時に関係者からお話を伺っておりますので、所感も含めて、担当課長からご説明申し上げます。

小中一貫教育課長 探求学習という言葉が先ほどから、出てきていると思っております。今でも学校で探求学習を目指して、学習活動、授業改善も進めておるところでございます。それで、先日高知県の香美市立大宮小学校に視察に参りました。その時の感想も含めながら、少しお話しができたと思っております。

先ほどの説明からもございますように、大宮小学校の子供たちの様子というのが、備前市の子供もなんですが、より子供たちが主体的に動いているな、先生に与えられながら授業を進めていくというスタイルではなくて、子供たちがはてなをまず見つける。そのはてなに向かって、どうというアプローチができるかというのを考える。それを実際にどういう方向で調べていくかという方向性を持って、学習を進めていく。それをまとめて、自分の中でより今度は相手を意識しながら人に伝えていくというような過程、思考をまとめながら整理しながら進めていくといったようなそういう活動がなされておりました。子供たちが学び方を学んでいるなという感想を持ちました。そういう子供たちが、与えられたことをこなしていくのではなくて、自分から進んで学んでいく。子供たちがより自分事として、課題を捉えて、学習指導要領でもよくうたわれております、主体的で対話的で深い学びというのがあるのですが、そういうものに迫っていける、そういう姿を見ることができました。本市においても、今の授業改善の背中を押すというような形で、こういうIB教育を取り入れていくというのは、有意義ではないかと考えております。以上です。

教育長 議案第32号についての説明が終わりました。何か質問はありませんか。

教育委員 大宮小学校の規模など教えていただけたらと思います。

小中一貫教育課長 全校児童が154名の学校で、1年生だけが2学級であとは1学年1学級という学校規模でございます。

教育長 ほかに質問はありませんか。

教育委員 (質問なし)

教育長 ないようですので、議案第32号を承認してよろしいか。

教育委員 (異議なし)

教育長 異議がないようですので、議案第32号については承認することといたします。

以上で、議案第32号の審議を終わります。

教育振興部長 ご採決をいただきまして、ありがとうございます。今後の取組について、教育委員会といたしましては、年明け1月4日に市全体の会議として、幹部が色々な取組を決定していきます庁議という会議に、この決定された計画の概要を説明し、報告をまいります。備前市としては、この推進計画に基づいて、IBの教育を進めていく旨を報告いたします。翌日の1月5日には、小中高の合同校長会がございますので、そちらでのご報告、1月17日開催予定の議会の所管委員会であります厚生文教委員会への報告、それから月末までにご案内をさせていただく予定ですが、備前市教育未来創造会議でも報告をしていく予定でございます。今回の教育委員会会議での取り上げのみならず、今後の動き、現状なども含めて、この取組については、議論を深めさせて

いただくよう事務局の方でも思っておりますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

教育長 今後のスケジュールと、さらに具体的に綿密に準備を進めていくということでございます。今後ともご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

次に、5番 次回の教育委員会会議の決定ですが、事務局案を説明願ひます。

教育総務課長 1月の定例会につきましては、1月30日月曜日午後1時30分から、市役所6階委員会室で開催することを提案いたします。

また、2月定例会につきましては、2月13日月曜日午前10時00分からの開催予定とすることを提案いたします。

教育長 それでは、次回定例会は、1月30日月曜日ということで、いかがでしょうか。

教育委員 (異議なし)

教育長 それでは、次回教育委員会会議定例会は、1月30日月曜日午後1時30分から、市役所6階委員会室で、また、1月定例会は2月13日の予定といたします。

次に、6番、1月の行事予定及び共催、後援予定が事務局より提出されています。ご確認ください。

その他、何かありますか。

図書館事業推進室長 図書館事業推進室から、1件ご報告をいたします。すでに委員の皆様には、市立図書館等整備基本計画の案をお届けしておりますが、この度1月中旬から一月をかけまして、パブリックコメントをいただく期間を設けたいと思います。1月広報にも掲載いたしております。資料の閲覧場所につきましては、市のホームページ、当図書館プロジェクト推進課、各総合支所、各図書館の方へ配置したいと思っております。また意見の提出方法につきましては、郵便、eメール等で受け付けをさせていただく予定でございます。ご承知いただけたらと思っております。以上でございます。

教育総務課長 教育総務課から、令和5年度の給食費、学用品費、それから幼児教育課の方から保育料につきまして、配布資料のとおりそれぞれ担当課から、保護者宛案内文書を12月16日付で送付させていただいておりますので報告いたします。なお、マイナンバーカードの交付率につきましては、同じく配布しております資料のとおりでございますが、主に小中学生の年代で、他の年代より低い傾向にあるようでございます。今後、申請の案内など、丁寧な対応を取っていく必要があると考えておりますので、委員の皆様のご理解、ご協力をお願ひできたらと考えております。以上です。

教育文化振興課長 備前市「論語かるた」大会について報告いたします。令和5年1月21日土曜日

に備前市「論語かるた」大会を開催いたします。ただいま、参加募集をしております。申込締め切りは12月28日までです。令和2年度からコロナの影響で大会が開催できておりません。今年度はぜひ開催したいと思います。

次に、東備西播の日本遺産講演会として、令和5年1月28日土曜日に「北前船入門」と題しまして、北前船交流拡大機構の上席研究員中野秀治氏による講演会を開催いたします。募集定員は50名です。皆様方ぜひご参加よろしくお願いたします。

最後に、「久保田耕民と有終会のあゆみ」を加子浦歴史文化館において、令和5年1月25日から3月20日まで開催いたします。以上です。

国際教育推進部長 私の方から、皆さんのお手元に配布をさせていただいております、備前市幼小中一貫英語教育推進プログラムのことについて、ご案内をさせていただこうと思います。私、今年度4月に備前市教育委員会に着任して、5月、6月、7月の前半をかけて、全ての小学校、中学校のALTとティームティーチングの英語の授業を視察させていただきました。その中で全ての小学校、中学校に常勤で、ALTが配置されているという、素晴らしい環境なんです、英語の担当している教員の力量であったり、極端なことを言いますと、興味関心によって、授業で進めるスピードあるいは、その箇所にかかる時間など、随分差がありました。せっかくいい環境ができていますので、これをもっと効果のあるものにするために、やはり小中一貫した考え、理念の元に英語教育をやっていく必要があるなど、そして、さらに、今年度からはこども園、保育園に3名のALTが常勤で曜日を決めて配置されております。こども園、保育園でいわゆる3歳から5歳までに 音声獲得期という風に生理学的にも言われておりますけれども、この間にきちんとした生の英語を耳にする環境が整いましたので、より小学校、中学校の英語教育を系統的なものにしていかなきゃならないということで、こういうプログラムを作っております。中を若干ご紹介したいところがあります。2ページ、3ページをお開けいただきたいんですが、もう随分昔から日本人は当時、中学、高校6年間、さらに大学へ行くともう4年で10年間英語を勉強するけれども、英語が使える日本人というのは本当に少ない。実際問題、例えば2ページのところにはTOEFLの検定という英語の検定試験がありますが、そのTOEFLのスコア、一番下の2019年のところをご覧くださいんですが、2019年の日本人受験者の成績のことが書かれておまして、例えば、同じアジア圏で英語を母国語としない韓国の平均スコアは、リーディング22点、リスニング21点、スピーキングとライティング20点、合計83点で平均順位が13位だった。アジアの国々29カ国がこの時TOEFLを受けているんですけども、日本の平均順位は27位、大体毎回のTOEFLのスコアで、日本人のスコアというのは、大体アジアの国の下から数えた方が早い、そういう感じです。それから3ページのところに

は、TOEICという英語の検定試験があります。これも受験者の中で、受験した国の平均点を比較すると、日本の平均点は本当に低い。TOEFL とかTOEICを受ける日本人ですから、少なくとも英語に関心のある方々が多いと思うんですが、それにしても、アジアの国の中で比較してもこういう成績というのが実態であります。ちょっと飛びますが、19ページの下の方11番、これはアメリカの国務省の中の外交官養成局というところで、アメリカ人の外交官を養成する部署で、他の言語を習得するのにかかった平均時間がこの一覧になっておりまして、例えば、アメリカ人がデンマーク語やイタリア語を習得するには、約600時間必要で、600時間あったら、だいたい皆話せるようになっている。右端をご覧くださいますと、アメリカ人にとって1番習得が困難とされてる言語が日本語、中国語、韓国語、大体2,200時間ぐらいかかるそうです。次のページもご覧になっていただきたいんですけど、同じように習得が困難とされる言語を母国語とする中国、韓国と日本との英語教育の違いは、学習時間と学習開始時期にあると言われていています。実は韓国とか中国とかタイをはじめ、他のアジアの国々では、今より20年以上前に、小学校での英語教科の必須化がすでになされておりました。ここで初めて日本が、この英語を必須化したんですけども、もうすでに20年遅れているということが言えます。一覧をご覧くださいたいんですが、韓国と日本を比較させていただいておりますが、小学校1年生では、現在韓国でももう英語はやっていません。日本も小学校1年生、2年生は英語をやっておりません。韓国の場合には3年生、4年生が68時間、5年生、6年生が102時間、日本の場合には3年生、4年生が35時間、5年生、6年生が70時間。圧倒的に小学校で英語の授業、英語を教える時間数は韓国の方が多いんですね。韓国は実は20年前に小学校の1年、2年でも英語の授業やっていたのですが、あまりにも保護者の間で加熱しすぎたために、日本で言う文科省が1、2年生での英語を廃止しました。中国もそうなのですが、ただし、韓国では小学校1年生、2年生にはもうほとんど英語教室とか塾でそれを補っているという現実があります。それから中学校のところをご覧くださいたいんですが、韓国では中学1、2年が102時間、3年が136時間に対して、日本では中1、中2、中3が140時間、中学校になってから一生懸命英語をやっているんですけども、韓国の考え方からすると、それはもう時すでに遅しではないか、中国や韓国やタイ、他のアジアの国々では英語を第2外国語としてのいわゆる国策として、取り組んでいる傾向がありますけれども、日本では、まだまだそこまでは至っていないというのが、現状だと思います。備前市では、今年からこども園、保育園にALTを配置して、英語をやるようになりました。ぜひ、教育委員の皆様にも、お近くの保育園、こども園に行ってください、素晴らしい英語をやっていますので、ご覧いただけたらなという風に思っておりますが、既に年長の子が英語を経験して、来年の4月、小学校1年生に上がっていきます。すると、現状で言うと、今小

学校1年、2年は英語をやっておりません。学校によっては、外国語活動ということで、時々ALTと一緒に遊ばしようというのを設けていらっしゃるところもありますが、実際はほとんど小学校1、2年生からは英語に関する活動というのはありません。そこで、小中の校長先生方にお集まりいただいた校長会で、14ページをご覧ください。私の方から、特に小学校の校長先生には、保育園、こども園でいわゆる英語耳ができた子が小学校へ上がってきますので、これを台無しにしないでほしい、備前市の子がしっかり英語を聞き取る、聞き分ける耳ができて、小学校に上がっていきますので、引き続き、小学校1年、2年をきちんと英語の時間を取ってくださいというお願いをしまして、校長先生方も了承していただいて、いわゆるカリキュラムマネジメントと言うんですが、英語の時間数がそこに書かれている時間数を一年間通じて確保できるように、努力をしていただけるようになりました。このプログラムの後ろの方には、クラスルームイングリッシュという風を書いておまして、こども園や保育園、また、小学校の先生方が、英語の授業の時に日本語を使ってしまうと台無しになりますので、先生方にもこういった英語は、思い切って使えるように、なんとか頑張ってくださいというお願いをしております。また、このプログラムは英訳したものをALTにも配布する予定にしております。日本人の英語担当の先生とALTとの間で、しっかりコミュニケーションを取って、共通の備前市メソッドの英語教育を幼小中、近い将来、高校にもこういうプログラムを普及していけたらという風に考えております。ご紹介させていただきます。以上です。

教育長 ありがとうございます、何かご質問などございますか。

教育委員 孫がこども園でALTの授業を受けて、大変英語の発音が良くなりまして、私がハローと言ったら、ヘローだよと、違った発音で、大変こちらの方が勉強になっております。これからも続けてください。

国際教育推進部長 せっかく言っていたので、もう1つだけ耳にとどめておいていただきたいんですが、今、こども園、保育園でやってる英語は フォニックスと言いまして、音声から入る英語というのをやっております。フォニックスという風に呼びますので、備前市のこども園や保育園では、英語のフォニックスというのをやっているという風に、他の人にもお知らせいただけたらと思います。どんなことやっているのかというのは、ぜひ見に行っていたらと思いますので、よろしく願いいたします。

教育長 こども園の運動会でALTが英語で、運動会も活躍してる姿と思うんですけど、本当に生活場面で英語を学ぶというより、英語はもう本当に生活のままでしみ込んで、体で入っていくようなそういう英語ですね。それが小さい頃から増えていくと幼小中高とだんだんと英語力はスピー

キング、その他へと繋がっていくんじゃないかという風に考えます。その他いかがでしょうか。

教育委員 先ほど教育総務課長から、小学校、こども園等に12月16日付けでマイナンバーの案内文書が子ども経由で送られていると思うのですが、その件に関して数点お聞かせください。教育長、少々個人情報のものが含まれますので、非公開でお願いしたいと思います。

教育長 会議規則第15条第4号及び第6号の規定に基づき、個人に関する情報を含む、会議を公開することにより個人の権利利害を害するおそれのある事項、会議を公開することにより教育行政の公正又は円滑な運営に著しい支障を生ずるおそれのある事項として、非公開とするよう発議します。

このことに賛成の委員は挙手願います。

教育委員 (全員挙手)

教育長 全会一致により非公開と決定しました。

それでは、非公開の発言とします。

..... 【 非公開審議 】

..... 【 非公開審議 】

教育長 そのほかにありませんか。

(その他連絡事項なし)

教育長 ないようですので、以上で12月教育委員会会議定例会を閉会します。

午後 2 時 59 分 閉会

備前市教育委員会会議規則第16条第2項の規定により、下記に署名する。

会議録署名委員 教育長

委 員